

製品安全データシート

製造者情報

会社名：塩水港精糖株式会社
 住所：東京都中央区日本橋堀留町 2-9-6
 作成部門：糖質研究所
 緊急連絡先：糖質研究所 TEL 03-3249-2408 FAX 03-3249-2418

整理番号 J-073

作成日 2005年9月30日
 改訂日 年 月 日

 製品名 AQURIA -リポ酸 P

物質の特定

混合物

主成分：
 マルトシ - サクロセキストリン (G2- -CD)
 マルトシ - サクロセキストリン (G2- -CD)
 ジマルトシ - サクロセキストリン (G2, G2- -CD)
 ジマルトシ - サクロセキストリン (G2, G2- -CD)
 - リポ酸

含有量：全 CD64%以上 (分岐 CD40%以上)
 - リポ酸 20%

構造式：
 G2- -CD ; C₄₈H₈₀O₄₀ (MW=1297.12)
 G2- -CD ; C₅₄H₉₀O₄₅ (MW=1459.27)
 G2, G2- -CD ; C₆₀H₁₀₀O₅₀ (MW=1621.41)
 G2, G2- -CD ; C₆₆H₁₁₀O₅₅ (MW=1783.55)
 - リポ酸 ; C₈H₁₄O₂S₂ (MW=206.33)

CAS No : G2- -CD ; 100817-30-9
 G2- -CD ; 104723-60-6
 - リポ酸 ; 62-46-4

官報公示整理番号：G2- -CD ; 8-671 (化審法)
 分岐 CD ; 11-(4)-769 (安衛法)
 - リポ酸 ; 9-817 (化審法)

安衛法通知対象物質：該当物質なし
 P R T R 法：該当物質なし

危険有害性の分類

分類の名称：分類基準に該当しない。
 危険性：- リポ酸は燃焼すると有害なガスを発生する。
 有害性：- リポ酸を吸引した場合、粘膜を刺激する可能性がある。
 目に入った場合、粘膜を刺激する可能性がある。
 環境影響：有機物の増加

応急処置	目に入った場合：	直ちにきれいな水にて、目およびまぶたの下を 15 分以上洗い流し、必要ならば身近な医療施設へ行き、医師の診察および手当てを受ける。
	皮膚に付着した場合：	皮膚刺激の少ない石鹼を使用し、多量の水で洗い流す。外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は速やかに身近な医療施設に行き、医師の診察および手当てを受ける。
	吸入した場合：	直ちに新鮮な空気のところへ移る。医師の診察および手当てを受ける。
	誤飲した場合：	水でよく口の中を洗浄する。必要ならば身近な医療施設へ行き、医師の診察および手当てを受ける。

火災時の処置	消火方法：	初期の火災には粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。耐アルコール泡または水噴霧により消化する。 大規模火災には泡消化剤を用いて空気を遮断する。周辺の設備等に散水して冷却する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。 消火活動の際は必ず保護具を着用し風上から作業を行う。
	消火剤：	水、二酸化炭素、粉末泡沫消火器等が有効である。

漏出時の処置 火気厳禁とし、漏出した粉は、ウェス等で拭き取るか、掃き集めて空容器に回収する。粉塵が飛散しないようにして取り除く。その後は多量の水で洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないよう注意する。

取り扱い及び

保管上の注意	取扱い：	通気が充分に行われる場所にて扱う。周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。容器を転倒させたり、落下させたり、衝撃を加える、引きずる等々の粗暴な扱いを避ける。粉塵が発生する場合は防塵マスクを着用する。容器、袋は水に濡らさないように注意する。強酸化剤、強還元剤、強酸および強アルカリとの接触を避ける。
	保管：	強酸化剤、強還元剤、強酸および強アルカリから離して置く。遮光した気密容器に入れ、冷所（15 以下）、換気の良い場所に保管する。

暴露防止措置	許容濃度：	現在のところ知見なし。
	設備対策：	局所排気装置を設置する。
	保護具：	必要に応じて、保護眼鏡、防塵マスク、保護手袋、保護長靴、保護服を使用する。

物理 / 化学的性質	外観：	淡黄色～黄色粉末
	水溶性：	希アルカリに易溶。
	融点、炭化点：	現在のところ知見なし。

危険性情報 発火点： 現在のところ知見なし。
(反応性・安定性) 引火点： 現在のところ知見なし。
爆発限界： 現在のところ知見なし。
安定性・反応性： -リポ酸は常温で安定。光に対して不安定。自己重合性あり。水や湿気があると重合が促進される。
加熱・燃焼： 燃焼すると分解して有害なガス（一酸化炭素、二酸化炭素、酸化硫黄類）が発生するので、消火作業の際には、必ず呼吸器など保護具を着用する。

有害性情報 急性毒性： CD：LD₅₀ ラット(経口) 16g/kg 以上...文献 1)
-リポ酸：LD₅₀ マウス雄(経口) 405 mg/kg
LD₅₀ マウス雌(経口) 277 mg/kg
変異原性： CD：陰性(Salmonella typhimurium, Escherichia coli) ...文献 1)

環境影響情報 現在のところ知見なし

廃棄上の注意 廃棄をする場合は、予め可燃性の液体と混合後、化学焼却炉で焼却する、アフターバーナーおよびスクラバーを具備した焼却炉の中で焼却する。産業廃棄物処理認定業者に委託処分する。これらを含む排水は、活性汚泥等の処理により、清浄にしてから排出する。

輸送上の注意 容器の転倒、損傷、荷崩れのないように積み込み、露出のないことを確認する。直射日光を避ける。取扱いおよび保管上の注意の項の記載によるほか、有害性固体に関する一般的な注意事項による。

適用法令 食品衛生法

その他 文献： 1) 月刊フードケミカル 1987 年 7 月号

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の手取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって、品質を保証するものではありません。
